

	号外	定価1部2円	運動方針確立！当面する人勧闘争・参議院選挙「きどぐち英司」・「吉田ただとも」勝利に向け結集を！	
	昭和34年4月1日	発行所		No.2369
	第3種郵便物認可	盛岡市内丸10番1号		2016年
		岩手県庁内		6月15日
		岩手県職員労働組合		

県職労第115回定期大会

賃金改善
職場改善
政治闘争
...など

運動方針確立！

=多くの代議員の発言で方針補強=

当面する人勧闘争・参院選に全力を！

6月11日、県職連合第20回・県職労第115回定期大会を開催し、2016年度運動方針と人勧闘争・来たる参院選勝利に向けた当面の闘争方針を確認した。賃金・手当の改善、人員要求、職場改善要求、労働安全衛生の確立、国体対応の問題点など多くの代議員から発言があった。

国体対応については「土日出勤は代休・振休を取るよう言われるが、議会があり休める日が無い」「希望郷いわて国体の動員は朝早くから夜遅くまでかなり重い動員となる。負担軽減を組合から要請して欲しい」などの声が上がった。

その他、人員の確保・任期付職員の選考採用対策、選挙に向け公務員が出来る取り組みの明確化などの補強発言を受け、運動方針は賛成多数で確認された。県職労は、当面する課題の前進に向け、全力を挙げ取り組む。(大会詳細は後日機関紙に掲載します)



当面する人勧闘争・参院選勝利に向け団結ガンバロー

当面の闘争方針① 人事院勧告闘争 配偶者扶養手当の改悪阻止！

配偶者扶養手当額	13,000円/月
県職員の受給者(行政職) (2015.4月時点)	1,458人 (32.5%が受給)

今年、人事院は「配偶者の扶養手当」改悪の動きを見せている。安倍政権は税と社会保障の一体改革及び、女性の活躍推進の観点から、配偶者控除を廃止し、同時に配偶者の扶養手当を見直すことを人事院に要請。人事院は勉強会を開催し、有識者から意見聴取した上で、春の交渉で公務員連絡会に対し見直しを言及している。民間大企業では、扶養手当を家族手当(子ども手当)へ切り替える動きがあるが、安易な家族手当への切替えは、一方的な賃金削減につながりかねない。県職労では人事院への早期の働きかけを行うため、署名による要請を行っていく。

※人事委員会資料より

当面の闘争方針② 政治決戦の参議院議員選挙勝利へ 推薦候補の必勝に向け支持拡大を 安倍自公政権の暴走にストップを

県職労では政治闘争の具体的取り組みとして、当面する参院選（6月22日公示・7月10日投票）に向け、取り組みを強化していくことを確認した。今回の選挙戦での争点は次の点となる。

- 安倍自公政権の暴走を許さない…安保法制を衆参とも強行採決するなど、国民の声を無視した国会運営が続いていること。アベノミクスは金融緩和をはじめ、経済対策に多額の税金を使ったが、企業の内部留保を増やすのみで、労働者には全く恩恵がなく、逆に実質賃金は下がり続けている。安倍政権が続けば、私たちの生活が一層厳しくなることは明らかで、N〇を突き付ける必要がある。
- 平和で労働者が安心して働くことが出来る社会の実現…平和と労働者福祉の向上を公約とし、労組との関係を維持し、私たちの声を政策に反映する議員を選ぶ必要がある。

県職労は次の候補予定者を推薦決定しています。組合員一人ひとりのご協力をよろしくお願いします。

岩手選挙区は 注目の野党統一新人候補 きどぐち英司

【主な政策】

- ・アベノミクスを転換し、暮らしと仕事の現場に立脚した社会経済政策の推進
- ・安保法制の廃止、集団的自衛権行使容認の閣議決定撤回、立憲主義回復の実現・震災からの復興推進、TPP批准反対、保健・医療・福祉サービスの体制構築



【トピックス】達増知事の政策秘書を9年間勤め、県政の裏方で活躍してきました。岩手県の事情に精通し、地方の声を国に届けることが出来る方です。

全国比例区は 自治労組織内・社民党党首 吉田ただとも

【主な政策】

- ・戦争法廃止、平和憲法擁護、原発再稼働反対
- ・貧困・格差の解消、労働法制改悪反対、賃金改善など労働者が安心して生活できる社会の実現
- ・地方財源の拡充し、真の地方再生を実現、食と農を守るためTPP反対、福祉・子育て支援の充実



【トピックス】大分県職労の出身（農業土木技師とのこと）。大分県議を経験し、地方行政はもちろん、私たち県職員（労働者）の実態が良くわかる方です。

選挙情勢を聞きに行こう！「野党合同街頭演説会」開催

と き：2016年 6月19日（日）12：00～（50分程度）

と ころ：JR盛岡駅前（バスターミナル～滝の広場前）

弁 士：野党4党から各1名、野党統一候補「きどぐち英司」さん、ミナセンいわて など